

十七歳の溢れだす想い〜平和を唱う〜

沖縄県立陽明高等学校二年 岸本 紗采

校庭の隅に咲く白い綿毛
それは私を幸せへと導くかのように
大空へと舞い上がった
ポツポツと雨が降り始め
校舎の壁を黒く染めた
見慣れた光景が
モノクロの世界とリンクする
七十五年前の空と同じ
写真に映る少女の頭上にも
薄暗い空が広がった

私と同じ十七才
少女を知りたい気持ち
涙となってこぼれ落ちた

「私ならきつと」

「何も出来なかったはず」
その気持ちは私の心を締め付けた
全てを奪われた過去が

少女の中でまだ生きていた
七十五年前の悲劇

「歪んだ大人」

「歪んだ心」

「歪んだ支配下」

「歪んだあの時代」
目を背けたくなる光景

少女と私の想いが溢れだす

「何故」と問いかけ

「何故」と怒り

「何故」と悲しむ

この地（沖縄）を戦場にした過去の過ち

戦火の中、息を潜め

恐怖と孤独に怯え

一日一日を必死に生きた

愛する誰かの為に「生きたい」と叫んだ

愛する誰かの為に「殺して」と叫んだ

あの歪んだ時代が

愛する人の命を奪い去り

この島を変えてしまった

戦争の爪跡はまだ「この地」にある

今も同じ地球のどこかで

争いの絶えない現実

銃を手に正義だと吠える彼等

その影で怯え苦しんでいる人々

救い求め懸命に生きる人々

私達は忘れかけていないか

大切な人と過ごせる時間を

愛する事の素晴らしさを

誰もがこの幸せを知っているはずだ

それは誰も奪うことは出来ない

奪ってはいけない

幸せを奪う正義に平和は無い

私達は辛い過去から学んだ

少女が生きた証

私が生きている奇跡

受け継がれた命は尊い

二度と戦争はしない

二度と戦争を選ばない

自由を表現できる今だからこそ

開かれた心で平和を分かち合いたい

ただ、思いやりを持つ人でありたい

ただ、寄り添える人でありたい

そして平和を唱い続ける人でありたい

私はこの島の人々と平和を唱い続ける

世界中の平和を願って

少女と私の想いが溢れだす

私と同じ十七才

少女を知りたい想いが

涙となってこぼれ落ちた

「私ならきつと」

「私でもきつと」

「何も出来なかったはず」

その気持ちは私の心を締め付けた

全てを奪われた過去が

少女の中でまだ生きていた

白い綿毛が悲しみの場所をたどり

幸せへと導くように

少女と私は空を見上げた